

《化学専攻 博士課程後期》

令和 8 年度 4 月入学生を募集する専修部門と主指導教員及び主な研究内容

専 修 部 門	主 指 導 教 員	主 な 研 究 内 容
物質機能化学	未 定	—
構造物理化学	教 授 博士(学術) 勝本 之晶	高分子物理化学・分子分光学に関する研究
有機生物化学	教 授 博士(理学) 塩路 幸生	有機小分子による生体への刺激に関する研究
	教 授 博士(工学) 松原 公紀	有機金属錯体を用いた有機・高分子合成に関する研究
機能生物化学	教 授 博士(医学) 倉岡 功	細胞・遺伝子・タンパク質の化学
ナノ化学	教 授 博士(工学) 林田 修	ナノ分子による生体機能化学と超分子化学に関する研究
化学教育学	教 授 博士(学術) 松岡 雅忠	理科(化学)実験教材の開発研究

授業科目、単位、担当者及び履修方法、主な研究内容(令和 7 年度現在)

※令和 7 年度開講科目は、シラバス(授業内容含む)を Web で公開しております。「電子シラバス 福岡大学」で検索の上、参照ください。

研究指導科目

専 修 部 門	授 業 科 目	単位数	担 当 者	主 な 研 究 内 容
物質機能化学	(第 1 年次)		未 定	—
	物質機能化学特別研究Ⅰ	2		
	物質機能化学特別研究Ⅱ	2		
	(第 2 年次)			
	物質機能化学特別研究Ⅲ	2		
	物質機能化学特別研究Ⅳ	2		
	(第 3 年次)			
構造物理化学	物質機能化学特別研究Ⅴ	2	教 授 博士(学術) 勝本 之晶	高分子物理化学・分子分光学に関する研究
	物質機能化学特別研究Ⅵ	2		
	(第 1 年次)			
	構造物理化学特別研究Ⅰ	2		
	構造物理化学特別研究Ⅱ	2		
	(第 2 年次)			
	構造物理化学特別研究Ⅲ	2		
有機生物化学	構造物理化学特別研究Ⅳ	2	教 授 博士(工学) 松原 公紀	有機金属錯体を用いた有機・高分子合成に関する研究
	(第 3 年次)			
	構造物理化学特別研究Ⅴ	2		
	構造物理化学特別研究Ⅵ	2		
	(第 1 年次)			
	有機生物化学特別研究Ⅰ	2		
	有機生物化学特別研究Ⅱ	2		
有機生物化学	(第 2 年次)		教 授 博士(理学) 塩路 幸生	有機小分子による生体への刺激に関する研究
	有機生物化学特別研究Ⅲ	2		
	有機生物化学特別研究Ⅳ	2		
	(第 3 年次)			
	有機生物化学特別研究Ⅴ	2		
	有機生物化学特別研究Ⅵ	2		

機能生物化学	(第1年次)				
	機能生物化学特別研究Ⅰ	2			
	機能生物化学特別研究Ⅱ	2			
	(第2年次)				
	機能生物化学特別研究Ⅲ	2	教 授 博士(医学) 倉岡 功	細胞・遺伝子・タンパク質の化学	
	機能生物化学特別研究Ⅳ	2			
ナノ化学	(第3年次)				
	機能生物化学特別研究Ⅴ	2			
	機能生物化学特別研究Ⅵ	2			
	(第1年次)				
	ナノ化学特別研究Ⅰ	2			
	ナノ化学特別研究Ⅱ	2			
ナノ化学	(第2年次)				
	ナノ化学特別研究Ⅲ	2	教 授 博士(工学) 林田 修	ナノ分子による生体機能化学と超分子化学に関する研究	
	ナノ化学特別研究Ⅳ	2			
	(第3年次)				
	ナノ化学特別研究Ⅴ	2			
	ナノ化学特別研究Ⅵ	2			
化学教育学	(第1年次)				
	化学教育学特別研究Ⅰ	2			
	化学教育学特別研究Ⅱ	2			
	(第2年次)				
	化学教育学特別研究Ⅲ	2	教 授 博士(学術) 松岡 雅忠	理科(化学)実験教材の開発研究	
	化学教育学特別研究Ⅳ	2			
化学教育学	(第3年次)				
	化学教育学特別研究Ⅴ	2			
	化学教育学特別研究Ⅵ	2			

特修科目

部 門	授 業 科 目	単位数	部 門	授 業 科 目	単位数
非 専 修	物質機能化学特修講義Ⅰ	1	非 専 修	有機生物化学特修講義Ⅱ	1
	物質機能化学特修講義Ⅱ	1		機能生物化学特修講義Ⅰ	1
	構造物理化学特修講義Ⅰ	1		機能生物化学特修講義Ⅱ	1
	構造物理化学特修講義Ⅱ	1		ナノ化学特修講義	1
	有機生物化学特修講義Ⅰ	1		科学教育学特修講義	1

- 1 学生は、研究指導科目のうちから1専修部門を選定し、これをその学生の専修科目とする。
- 2 学生は、専修科目担当者のうちの1人を主指導教員とし、専修科目及び学位論文の作成、その他研究一般についてその指導を受けるものとする。
- 3 前項のほか、学生は、主指導教員が定めた副指導教員の指導も受けるものとする。
- 4 学生の標準修業年限は3年とし、所定の授業科目のうちから、研究指導科目12単位、特修科目4単位以上、合計16単位以上を修得しなければならない。
- 5 前項の規定にかかわらず、優れた研究業績を上げた学生については、1年以上在学し、かつ、当該学生の在学期間に応じた所定の研究指導科目の単位数及び特修科目4単位以上を修得すれば足りるものとする。
- 6 主指導教員が必要と認めた場合は、他の専攻又は研究科の授業科目を履修し、これを特修科目の単位にあてることができる。
- 7 学生は、主指導教員を主査として、専修科目について博士の学位論文を提出し、論文審査及び最終試験に合格しなければならない。